

Case Study

アバナードが、Power Platform を
活用した足利銀行の業務効率化
を支援
株式会社足利銀行

Case Study

アバナードが、Power Platform を活用した足利銀行の業務効率化を支援
株式会社足利銀行

「アバナードと一緒にPoCを実施した結果、足利銀行の住宅ローン審査業務を効率化するのにPower Platformはきわめて有効だと確かめることができました。その意味で、プロジェクトの目標は120%達成できたとわれわれは評価しています」

株式会社足利銀行
BPR推進室 室長
小林 紀一氏

住宅ローン審査業務の効率化にMicrosoft Power Platformを採用しPoCを実施

【背景】

株式会社足利銀行（本店：栃木県宇都宮市、以下、足利銀行）は、関東北部を地盤とする地方銀行です。金融自由化が進む銀行業界では、他業種からの参入やネット銀行の誕生によって競争が激化。さらに、長く続く低金利政策によって収益を確保することも難しくなっていました。

このような状況を背景に、銀行業界では最新のITを活用する業務効率化が進んでいます。多くの銀行が取り組んでいるのは、紙帳票の削減・廃止（ペーパーレス化）とRPAによる作業の自動化です。それによって、顧客の利便性がまるものと期待されています。

足利銀行では従来からRPAに取り組んでいたチームを統合する形で新組織「BPR推進室」を2020年4月に立ち上げ、Microsoft 365などの最新のITツールを活用した全行レベルの業務プロセス改革（BPR）をスタートさせました。

「最初のテーマの一つとして、われわれは住宅ローン審査業務の効率化を選びました」と説明するのは、BPR推進室 室長を務める小林紀一氏です。住宅ローンは個人客向けローンの8割超（貸出全体の約4割）を占め、ボリュームが大きく、書類が多くて処理も複雑という特性をもちます。ここを効率化できれば他の業務もスムーズに効率化できるはず、というのがBPR推進室の読みでした。

住宅ローン審査業務の効率化目標としてBPR推進室が設定したのは、「実行までの日数のさらなる短縮」「顧客が用意すべき書類の削減」「銀行側の事務作業の省力化」の3点です。従来の紙資料をなるべくデジタル化し、最後までデジタルで扱うことによって作業量を半分程度に減らすのがねらいです。

【ソリューション】

プロジェクトがスタートしたのは、2020年10月。BPR推進室は、まず、Microsoft Power Platform（以下、Power Platform）を業務プロセス改革用のツール候補として選定しました。選定の理由として、小林氏は次の5点を挙げています。

- 業務プロセス改革のためのプラットフォームとなりうる
- データベースとしてMicrosoft SharePointが使える
- コネクタが充実しているので他の業務システムと容易に連携できる
- ローコード開発ツールなのである程度ノウハウを蓄積すれば、事業部門（システム部門以外）の行員でもアプリを開発できる
- 日頃使い慣れている Microsoft Office と操作性が似ている

さらに、Power Platformを使うのはこれが初めてだった足利銀行は、概念実証（PoC）までの作業に専門企業の支援を求めるとにしました。「導入支援の実績が多く、要件整理からPoCまでの作業をわれわれと一緒にやってくれることを条件にしました」と、小林氏。その結果、金融機関向けのPower Platform導入支援実績が豊富なアバナードに支援を依頼することに決めました。

PoCを実施するための要件整理が始まったのは、2021年1月。小林氏は「まずは、われわれがローンセンターの現場担当者にインタビューをして、住宅ローンの業務要件と業務プロセスフローを整理するところから始めました」と振り返ります。整理にあたっては、紙書類を必要最小限のものに絞り込む方針で検討しました。

Case Study

アバナードが、Power Platform を活用した
足利銀行の業務効率化を支援
株式会社足利銀行

一方、アバナードは業務プロセスのあるべき姿 (to-be) の検討を担当しました。「業務プロセスの将来像を見据えた要件をBPR推進室の方と密にコミュニケーションを取り、住宅ローン以外の業務にも適用できる汎用的・共通的なアーキテクチャを構築しました」と語るのは、このプロジェクトを指揮したアバナードPower Platform CoEリードの後藤です。BPR推進室との何回かのやり取りを経て、PoCで検証すべきシステムの形が決まりました。

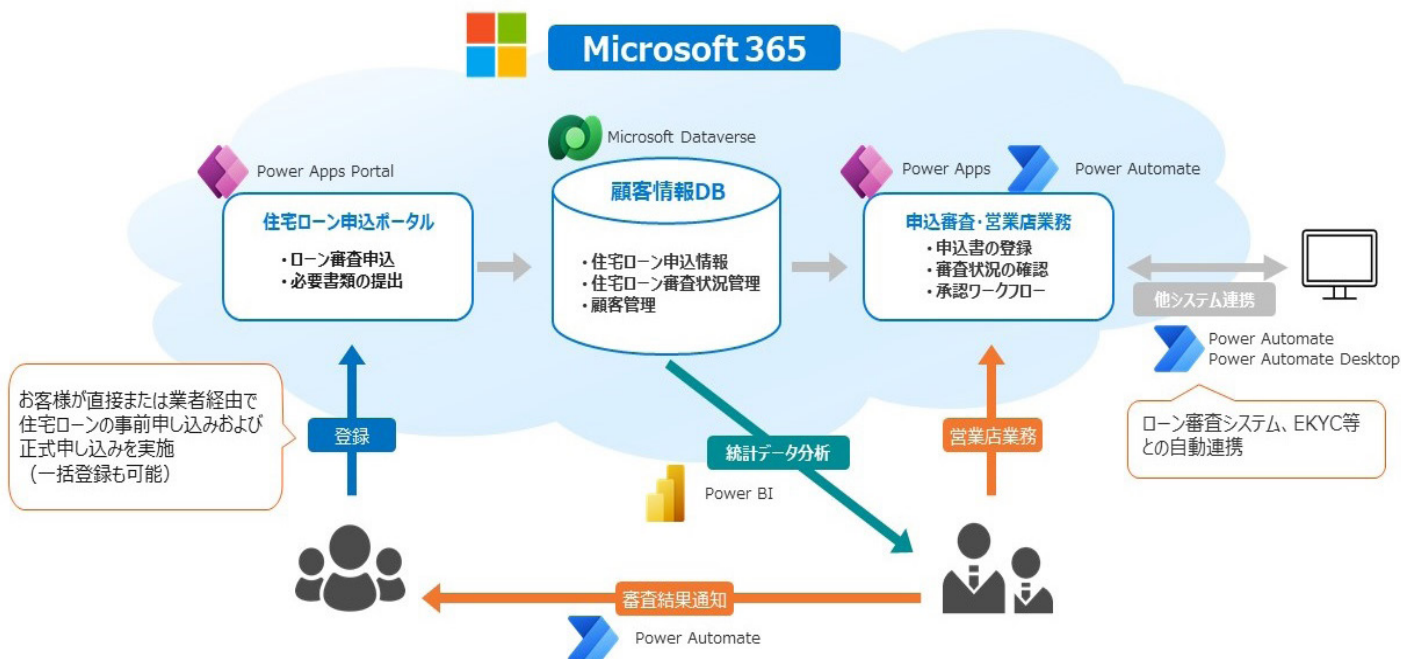
その後、アバナードはPoCのためのシステムを構築。2021年2月～3月の2か月をかけて実現可能性を検証しました。

「Microsoft Power Appsを使ってローコードで開発したア

プリは、足利銀行本部用、ローンセンター用の2つ。PoCでは顧客が情報を入力するフォーム画面をMicrosoft Formsで作成しましたが、将来的にはフォーム画面をPower Apps Portalsで作成したりデータベースをMicrosoft Dataverseに置き換えたりするなど、Power Platformの利点を最大限に活用できるアーキテクチャを検討している」と、アバナードPower Platform Expertの小玉は語っています。

証の過程では、BPR推進室がアプリを試しに使用して、修正すべき箇所をアバナードにフィードバック。このプロセスを数回繰り返して、PoCは2021年3月末に完了しました。

住宅ローン審査アプリ概要図



【成果】

「アバナードと一緒にPoCを実施した結果、足利銀行の住宅ローン審査業務を効率化するのにPower Platformはきわめて有効だと確かめることができました。その意味で、プロジェクトの目標は120%達成できたとわれわれは評価しています」

PoCを終えた小林氏は、プロジェクトの成果をこのようにまとめています。ローン事業を統括するローン事業部に検証の結果を説明したところ、反応も上々。事業部門の高評価を励みに、BPR推進室は実運用への移行計画を練り始めたところ です。

Case Study

アバナードが、Power Platform を活用した
足利銀行の業務効率化を支援
株式会社足利銀行

まず、2021年度上半期（4月～9月）に予定されているのが、住宅ローン審査業務用のアプリの開発とテスト。それと並行して、実運用に必要なソフトウェアライセンスを購入したり、他業務システムと連携するための機能を組み込んだり、といった準備作業も実施します。

その後、2021年度下半期（10月～2022年3月）にローンセンターでの実運用開始を目標としています。業務への影響を最小限とするために、ローンセンター全店（15店舗）への一斉展開はしないのがBPR推進室の方針。現場で実際に使ってみないと発見できない要改善点を組み込みながら、段階的に開放していく予定です。

「このプロジェクトを通じて、ITの専門企業と協働してより高い目標に取り組むことがわれわれの進むべき道、という思いを強くしました」と語る、小林氏。ベンダーが持ってきたものをそのまま使ったり、要望だけ伝えてソフトウェア開発を任せたりするやり方では、けっして良いものは生み出せない。BPR推進室は考えています。

また、アバナードに対するプロジェクトメンバーへの高い評価もいただきました。

「業務の効率化とデジタル化のためのプラットフォームができあがったことで、足利銀行のローン業務の効率化に一定のめどが付きました。アバナードの皆さんは業務プロセス変革とMicrosoft製品についての知見がとても豊かで、銀行の実務に踏み込んださまざまな提言をいただけています」（BPR推進室 上席参事役 佐川一行氏）

「Power Platformについてほとんど知らないわれわれが発する質問に対して、的確な回答を迅速に頂戴でき、とても助かりました。いろいろと教えていただいたおかげで、今では簡単なアプリなら自分たちで試せるようになっていきます」（BPR推進室 係長 石杜 聖子氏）

このような高評価に応えるべく、アバナードは引き続きPower Platformを活用した足利銀行の業務プロセス効率化を支援していく予定です。

株式会社足利銀行

関東北部を地盤とする地方銀行。1895年10月1日に栃木県足利郡足利町（現・栃木県足利市）で営業を開始し、1967年2月に本店を栃木県宇都宮市に移転。2016年10月1日に株式会社常陽銀行と経営統合して、株式会社めぶきフィナンシャルグループを足立させました。総資産は6兆9,487億円。150店舗（本支店107、出張所43）のネットワークを通じて、法人および個人に金融サービスを提供しています。ウェブサイトは、<https://www.ashikagabank.co.jp/>



アバナードについて

アバナードは、マイクロソフトのエコシステムにおいて、革新的なデジタルおよびクラウドサービス、ビジネスソリューション、デザインされたエクスペリエンスを届けるトッププロバイダーです。当社が擁するプロフェッショナルなスタッフは、テクノロジー、ビジネス、業界の専門知識を組み合わせ、大胆かつ新鮮な思考を武器に、クライアント企業、その従業員、その顧客に真の変革と成長をもたらしています。アクセントチュア マイクロソフト ビジネスグループの一員として、マイクロソフトのプラットフォームの活用を通して、クライアント企業の顧客エンゲージメント、従業員体験向上、オペレーションの最適化、ビジネス変革を支援するのが私たちの役割です。26ヶ国50,000名のプロフェッショナルなスタッフが、各地域に根差しつつ多様性を尊重する協力的な企業文化を通して、クライアント企業に「ベストなソリューション」を提供しています。アクセントチュアが筆頭株主であり、2000年にアクセントチュアとマイクロソフトによって設立されました。詳細については (www.avanade.com/ja-jp) をご覧ください。

アバナード株式会社

〒106-6009 東京都港区六本木1-6-1
泉ガーデンタワー9階

電話番号：03-6234-0150

ウェブサイト：<https://www.avanade.com/ja-jp>